



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.55

2022年3月号

ネット通信 花 便 り



目次

| | |
|-----------------------------|-------|
| 園芸福祉の庭を春色に植え替えました! | P2~P3 |
| 一人一花ハッスル事業 2021 企画・実施しました。 | P4~P5 |
| 園芸福祉体験事業、花育活動等の報告レポート | P6~P7 |
| 一人一花サミットハーブ香る「スワッグ風 しめ縄り」報告 | P8 |
| 市役所玄関前花壇 2022 年一人一花おもてなし | P8 |
| 事務局からのお知らせ | P9 |



園芸福祉の庭を春色に植え替えました!

アイランドシティ中央公園内、園芸福祉の庭・各テーマ花壇を春色の花に植え替えました。花壇担当会員の花壇作りのポイントや工夫した点、植える時に気をつけたことなどをご紹介します。

【子どもたちも一緒に楽しむ花壇】 黒瀬 恵子

【タイトル】デコレーションケーキ

【コンセプト】

コロナ禍での生活が長く続く中、少しでも子どもたちに楽しんでもらおうと、子どもたちも大好きなデコレーションケーキをつくりました。

【工夫したところ】

使用済みの杭を公園の管理事務所より提供していただき、杭をクッキーに見立ててケーキの土台をつくりました。プレートを変えることで、クリスマスケーキ、お正月のお祝いケーキ、バースデーケーキとして楽しめるようにしました。

【最後に】

このデコレーションケーキは、副代表の沖本さんとアイデアを出し合いながら、手先の器用な谷口元代表にも協力していただき、みんなで楽しみながらつくりました。

デコレーションケーキの花壇は、アイランドシティ中央公園のホームページに掲載され、FM 福岡の番組「あつまれ！！アイランドシティ中央公園」の中でも取り上げていただきました。

コロナ禍で、子どもたちと直接触れ合うことが難しい中、離れていてもデコレーションケーキの花壇を通して、子どもたちも一緒に楽しんでもらえたら良いなと思っています。

担当/黒瀬 恵子、沖本 圓



花がら摘み等花壇管理の様子



【車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇】

須賀 陽子

レイズドベッド 2 基の花植えを吉松 里美さんと須賀 陽子が行いました。花苗の種類は金魚草とビオラ、花色は暖色系・黄色と、寒色系・紫色の苗を植えました。車椅子利用の方や小さなお子さんに楽しんでいただけるようにビオラの花向きは外側に向けました。水やり後は、花苗の根鉢がちゃんと土の中に植わっているかをチェックして花植え作業終了です。

担当/須賀 陽子、吉松 里美



高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇



高く伸びた木や宿根草を掘り起こし、リフレッシュ！明るい花壇に蘇りました。



円形花壇

山道をイメージしました。小径の左右に咲く色鮮やかな葉牡丹、寄り添うような金魚草とビオラ。もうすぐ愛らしいシラーやムスカリの花にも会えます♪
担当/米倉 治美

【視覚に障がい者のある人たちと一緒に楽しむ花壇】

二俣 はるみ

シンプルで色彩がはっきりとした春の花壇を作りました。前に担当された米倉さんの煉瓦のデザインをそのまま使って、手前にビオラのピンク系、中央はスイートアリッサムの白、奥がビオラの青色と黄色の2種類でハッキリとコントラストをつけました。立体感に欠けるようですがチューリップの時期になると花々の間に沢山の赤いチューリップが咲きます。大きく伸びてきたら、少しは賑やかになると思います。花色で春を、ミント等のハーブで香りを、竹風鈴で風を感じられる花壇になったと思います。

担当/二俣 はるみ、諫山 みどり



ストレスを解消する花壇

花の高低差、花の彩りが調和された花壇に仕上がりました。春にチューリップが咲くのが楽しみです！
担当/米倉 治美





◆主催 一人一花ハッスル事業 アイランド中央公園・園芸福祉ふくおかネット共同企画

一人一花ハッスル事業 2021



園芸福祉ふくおかネットは「みんなで笑顔になりましょう！」をテーマに花・緑とふれあいながら、楽しい時間を過ごしていただける3つの勉強会や講座を企画・実施しました。

◆つるバラの剪定と誘引の講習会をしました。

2021年12月12日(日)開催の勉強会にバラ好き13名の方が参加。前半は会場のスクリーンを観ながらバラの育て方や剪定の仕方、管理の仕方などを学びました。その後、園内に移動して講師 吉田博美氏からバラの剪定、誘引の仕方など実践をしながら丁寧に教えていただきました。参加された皆さんは説明をメモったり、講師の手元を真剣な眼差しで見入っていました。



講師 吉田 博美 氏 (アイランドシティ中央公園・緑の相談員)

Profile

福岡県職員として28年間花の栽培指導や花の消費拡大に従事。15年前からご自宅のお庭を拠点に花を楽しんでもらうオープンガーデンや市民花壇の手入れ、宗像市の花カノユリノ普及、草花・バラの講習会や園芸相談等、生活の中に花を取り入れるための普及活動に多忙な日々を過ごされています。

つるバラの剪定と誘引に参加して 北野 多美子

我が家の庭にもバラを何本か植えています。ただ手入れをしていないので、伸び放題のためフェンスからはみ出しており、一発奮闘の剪定をするためこの講座に参加しました。①つるバラの剪定・誘引は12月中旬から1月末までに。剪定が思いのほかバツサリ→何故なら花が咲かない枝は残しておいても仕方がないから。

②葉もゴツリ取り除く→冬に休眠させるため。

※皮手袋を着用して親指と人差し指でバラの枝を挟んで一気にダーッと葉を落とされていました。誘引は枝同士が重ならないように。冬の間は剪定と誘引を行うのは春に美しい姿で花を咲かせる大きなポイントです。

講座で学んだことを実践中!! 山崎 博子

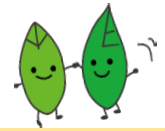
3年前、病院ボランティア花壇に10本のバラの苗を植え立派な花が咲き感激、魅了されました。でも翌年は毛虫に悩まされ何人か刺されてしまう、黒点病で葉が黒くなり落ちる、つるは伸び放題。やっぱりバラ育ては、大変だと思った。

そんな時、吉田先生の「つるバラの剪定と誘引講習会」を受講しました。前半は座学、後半は庭に出て実習、最初はパーゴラからツル外し、葉をむしり赤芽が出ているすぐ上で切る。細い枝はカット。花がどのように咲くか想像しながらアーチに誘引していく。バラの性質を知り丁寧に仕事をすることを学びました。アーチに誘引されたバラの姿が芸術的に綺麗だったことがとても印象的でした。

現在、講座で学んだことを実践中!!です。



子どもたちに楽しく遊びながら葉っぱに触れたり、名前を覚えたり、花や緑など植物に興味や関心をもつきっかけになればと企画しました。



◆3月6日(日)葉っぱでお絵描きエコバッグ作り

◆3月13日(日)自然観察・樹木名板作り

葉っぱに絵の具を付けて布袋にお絵描きします。完成した作品はお持ち帰りできます。

対象/小学生 参加費:無料 要予約

10:00~11:30 先着 10名 葉っぱ観察&エコバッグ作り

12:30~14:00 先着 10名 葉っぱ観察&エコバッグ作り

アイランドシティ中央公園

体験施設「ぐりんぐりん」内 ワークショップルーム

※大人は入館料 100 円が必要です。

クレヨンやマジックで木の名前や葉っぱの絵を書いた名板を作り、樹木に取り付けます。

対象/小学生 参加費:無料 要予約

10:00~12:00 定員10名

13:00~15:00 定員10名

アイランドシティ中央公園・園芸福祉の庭

体験施設「ぐりんぐりん」内 ワークショップルーム

※大人は入館料 100 円が必要です。



◆お申し込み・お問い合わせ先
アイランドシティ中央公園の
ホームページまたは

管理事務所 ☎092-661-5980

◆締め切り:3月3日(木)



◆お申し込み・お問い合わせ先
アイランドシティ中央公園のホームページ
または管理事務所 ☎092-661-5980

◆締め切り:3月10日(木)

新会員紹介 吉武 多恵子

「お花が好き！っていう気持ちが1番よ！」と弾けるような声でニコ〜ッと私に笑いつつ、花壇のお花には「カワイイ〜」と話しかける。テキパキと動きながらも、ほんわかとしたオーラが側にいて心地良くてなんだか私まで楽しくなって……。この黒瀬さんとの出会いが私の入会のきっかけです。

照葉に住んで12年、慌ただしくも穏やかな毎日を過ごしております。この出会いで今までの生活を振り返ると、園芸福祉ふくおかネットの花壇のお花達にずっと子育てを見守っていただき、いつも応援していただいております。

あらためて、本当にありがとうございます。ベビーカーの側で花壇のお花に喜ぶ娘、保育園の帰り道にカランカランと響く竹の風鈴で真っ暗になるまで遊んだ息子、子ども達が初めて自転車に乗れるようになったのも花壇横の緩やかな坂道。早朝から花壇のある公園内を家族でランニングしながら、末娘は小学校入学を待っております。

この出会いに感謝しつつ、誰かの心に寄り添える花壇のお手伝いをさせて頂ければ幸いです。



花育活動、園芸福祉体験事業報告レポート

福岡県立嘉穂東高等学校【プランターの寄せ植え】

北野 多美子

令和3年12月3日(金)花育活動を福岡県立嘉穂東高等学校で実施しました。プランター1個に花苗4種類(シロタエギク、ノースポール、パンジー、ビオラ)を2列にして、合計40個のプランターの寄せ植えを作りました。参加者は生徒会の方、ボランティア部の方が主でした。ボランティア部では福祉施設等へプランターの寄せ植えを届けたりしているそうですが、コロナ禍で活動がままならないようです。小雨が降る夕方の寒い中でしたが、手がキビキビと動き、要点をついた質疑応答で予定時間内に終了しました。

当日は記録係(写真撮影)でしたので、生徒さんたちの間をウロウロして顔が入らないよう写していましたが、皆さんの笑顔がお見せできなくて残念です。実施後のアンケートにはお礼の言葉などがびっしりと記載されていたそうで、体験講座の醍醐味ではないでしょうか。



完成した寄せ植え



福岡市立特別支援学校博多高等学園【お正月用寄せ植え】

諫山 みどり

令和3年12月15日(水)福岡市立特別支援学校 博多高等学園にて園芸福祉体験に参加させて頂きました。生徒さん達の爽やかな挨拶と掃除が行き届いた校舎。先生方の丁寧な対応に感動。花の苗や道具類も率先して生徒さん達が運んでくれました。講座が始まると、講師の手元が良く見えるように先生が講師の動作をカメラで撮ってモニターに投影する工夫をされていました。分かりやすいのかほとんどの生徒さんが1人で完成していました。初めて見る花の名前や植え方など熱心にメモを取り、作品を黙々と作る様子や講座の終わりに生徒代表からの「花に興味はなかったけれど、作品を作ってみて好きになりました」等々に感動した一日でした。



福岡県立古賀特別支援学校高等部 【プランターの寄せ植え】 溝口 孝夫



フェンスを飾るハンギングバスケット

12月16日は、朝からあいにくの雨でした。今日は「どんな生徒さんに会えるのか、寄せ植えがうまくできるかな」と少々、不安な気持ちでした。車を運転しながら校門まで続く坂のフェンスをふと見ると先週に作られたハンギングバスケットが掛けられていて「おはよう、頑張っ」と花々が声をかけてくれているようでした。生徒さんが登校してくるまで、和気あいあいとした雰囲気の中で、花苗や資材、用土の準備をしました。

登校してくる生徒さんが、部屋の中を覗き込んで「おはようございます」と元気にあいさつをして各々の教室へと向かって行きました。時間になると先生や生徒さんが教室に入られて、生徒さんのていねいなあいさつから「プランターの寄せ植え」の授業が始まりました。指導講師の説明を受けながら、他の講師も個性のある生徒さんと一人一人と向き合って、一緒に寄せ植えを行いました。私の生徒さんは「ここに植えるよ」と教えると順番に苗を置いたり土を入れたりして、ていねいな仕事をされていました。完成して「きれいにできたね」と声かけすると笑みを浮かべられて、私もホッとした気持ちになりました。どの生徒さんの寄せ植えも気持ちのこもった個性ある作品に仕上がっていました。掃除や後片付けも日々の活動のおかげで、みんなで協力してきれいに早く終わりました。終礼で、生徒さんが「楽しかった」「またやってみたい」など感想を発表してくれて、私も「今日は来て楽しかったな、またいっしょに活動したいな」と思いました。帰りには、さっそく今日の「プランターの寄せ植え」を玄関まで友達と運んで並べてくれていました。



福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校【花壇の花植えとプランター・鉢の寄せ植え】 沖本 圓



花壇は花苗を仮置き後植え込みます。

今回初めて聴覚特別支援学校での体験講座に関わり、コミュニケーション方法に工夫して花壇とプランターのデザイン画を用意し、生徒さんにお配りしてアイコンタクトに心がけました。

19名の生徒さんと10名を上回る先生や事務員の方が集まって来られ、私たち講師はまず「花壇の土作り」からはじめました。生徒さんの代表が「今日はよろしくお願ひします」と挨拶をされ、実習生の皆さんもよろしくお願ひしますと頭を下げて挨拶され

ました。「プランターの寄せ植え」の説明と手順が黒瀬代表からあり、先生が手話で生徒さんに分かりやすく説明されていました。講師が並べた19個のプランターにセットした花苗と培養土を配り、1個のプランターに生徒さん1名～2名が担当して土入れ、肥料混入、苗の配置、植え付け等の説明を受けながら丁寧に作業され順調に19個のプランターの寄せ植えが仕上がりました。静かですが、熱気にあふれた様子に皆さんの思いが伝わってくるようでした。次に花壇の植え付けは、皆さん大勢で花苗の植え込みに取り掛かったのがあつという間に植え終わることが出来ました。

花壇のフォーカルポイント(目を引く点)に赤い葉のコルジリネを何株か入れたのが良いアクセントになりました。皆さん達成感で笑顔がいっぱいの体験講座になり、私も良い体験をさせていただきました。水やりをして完了しました。

一人一花サミット体験講座 ハーブ香る「スワッグ風 しめ縄作り」報告 米倉 治美



体験講座が「ハーブ香るスワッグ風しめ縄作り」に決まると、試作に取りかかれました。

参加される方の年齢は?、好みの色は?、完成時間は?等等などイメージを膨らませ、自宅庭のレモングラス、レモンユーカリ、丸葉ユーカリと持ち合わせの布花などを使い数回試作を重ねました。と同時に参加人数50人分の材料準備。花材店やネット購入、稲穂はご近所さんの田んぼに入って稲刈りをさせてもらったり。レモングラスやアナベルは会員の山崎さんと溝口さんから提供していただき助けていただきました。

事前の会員勉強会で難しい箇所、工夫する点などを改善。当日はチーム「園芸福祉ふくおかネット」で、カバーし合い大盛況で完売する事ができました。皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。

10月30日(土)・31日(日) 福岡市植物園
一人一花サミットが開催され、大盛況!

嶋添 裕子

ハーブ香る「スワッグ風 しめ縄作り」勉強会に参加しました。作り上げる作業は麻紐で結んだり、ワイヤーを巻きつけたり、バランスを考えながら全体の形を整えるなど等……。手先を使う細かな作業は大変でしたが、素敵な作品ができたときは嬉しかったです!

イベント当日「何を作るんですか?」と来園者の明るい声が……。作り方を説明すると「作ってみようかな?」とウキウキした様子。

主軸のレモングラスの上に稲穂を重ね、麻紐で束ねたら材料を次々順番に飾り付けます。上部の花束作りは自分好みに飾り付けを重ね、ワイヤーを巻いたり麻紐で束ねたり細かな作業が続きます。

しめ縄作りが進むにつれ「できたあー!」「わぁ可愛い」「素敵ですね」と見つめる目。感激して、喜び顔でした。見守りながら、手伝う私も嬉しくなりました。



市役所玄関前花壇 2022年一人一花おもてなし 井上 妙子



毎月火曜日2時間で、3箇所の花壇を黒瀬 代表の指示の下、3~4名の当番制で花がら摘みや他の植物の手入れをしています。

時々通りすがりの方から「きれいですね。いつもお手入れありがとうございます。この前を通るのが楽しみです」「この花の名前は?」等とお声をかけられるとうれしくなります。植栽されている植物は一年草(年3回植え替え)、宿根草、ハーブ類、常緑樹、落葉樹、花木類等、花壇のテーマは「生物共生」と言うことで柑橘類、フジバカマ、ブッドレアが植えられています。今は落葉して葉のない樹木もありますが、それによって地表に陽があたりクリスマスローズがきれいに咲き誇っています。四季折々に変化する植物を楽しくお手入れしながら作業をしています。天神迄来られましたら見学して頂けたら幸いです。

事務局からのお知らせ

▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会議

現在、新型コロナウイルス感染防止のため「あすみん」での定例会議は中止していますので、園芸福祉の庭の定例作業の後に打ち合わせなどを行っています。コロナが収束して会員の安心・安全が確保できるようになりましたら皆様にお知らせします。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業

- 定例作業/第2月曜日・最終日曜日
10時～12時（6月～10月は9時～11時）
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
活動内容は花壇の維持管理（花がら摘み、除草、花苗植込み・撤去、水やり、施肥など）。
- 3月14日（月）・27日（日）定例作業のお知らせ
3月14日（月）は体験ボランティア親子（3名）が参加されます。ストレスを解消する花壇の手入れ予定。3月27日（日）は各テーマ花壇管理予定です。一人でも多くの参加・ご協力を宜しくお願い致します。
現在作業後の茶話会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止しています。
- 豪雨や気象災害などが予想されるときは中止、次週に変更です。（小雨決行）

▶ 入会手続きのご案内

- 入会を希望される方は事務局（下記掲載）にご連絡下さい。その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 黒瀬 恵子



● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒811-1351 福岡市南区屋形原 2-40-6-1

TEL:090-5020-8758（北野）

FAX:092-553-8066

E-mail: engeifukushi.fukuoka@gmail.com

URL: <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り第55号 令和4年3月1日

編集・発行/園芸福祉ふくおかネット